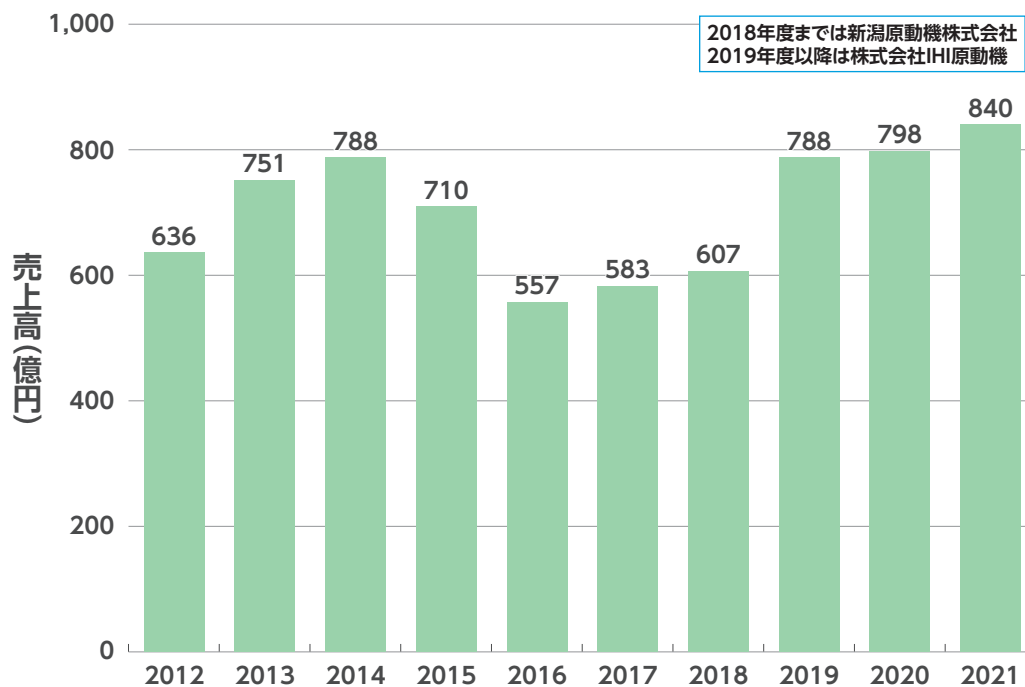


## 7 環境データ

### (1) 売上高の推移



注) 2019年度までは、ニコ精密機器株式会社と連結の売上高。2020年度以降は、株式会社IHI原動機単独の売上高。

### (2) 主な製品とその機関出力範囲

#### 主な製品

#### 主な用途など

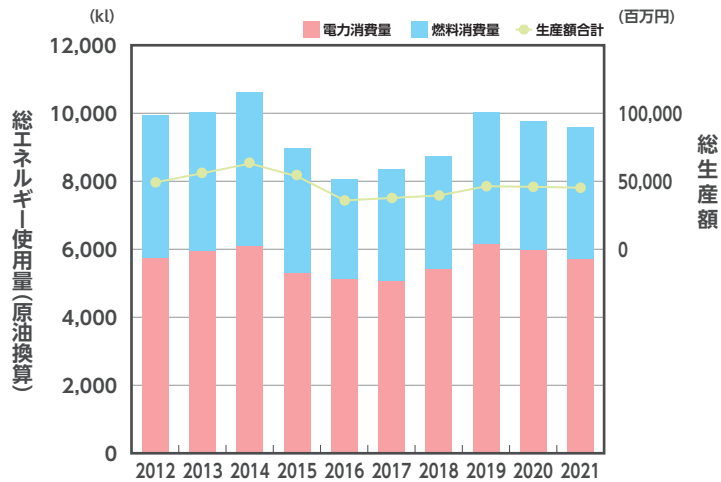
ディーゼル機関 (船用・4サイクル) 大型含む		漁船、客船、貨物船、高速艇、作業船、タンカー、コンテナ船 その他各種船舶用主機及び補機、遠隔操縦装置、機関監視装置、統合保守支援システム
ディーゼル機関 (船用・4サイクル) 中型のみ		漁船、客船、貨物船、高速艇、作業船、タンカー、コンテナ船 その他各種船舶用主機及び補機、遠隔操縦装置、機関監視装置、統合保守支援システム
ディーゼル機関 (船用・2サイクル) 大型のみ		
ディーゼル機関 (陸用・4サイクル) 大型含む		発電用、ポンプ用、コンプレッサー用、その他一般動力用機関、機関監視装置
ディーゼル機関 (陸用・4サイクル) 中型のみ		発電用、ポンプ用、コンプレッサー用、その他一般動力用機関、機関監視装置
ディーゼル機関 (車両用)		ディーゼルクーパー、ディーゼル機関車用、産業車両用
ガス機関 大型含む		4サイクルガス機関及び2、4サイクル船用デュアルフューエル機関
ガス機関 中型のみ		4サイクルガス機関及び2、4サイクル船用デュアルフューエル機関
ガスタービン機関 大型含む		発電用、ポンプ用
ガスタービン機関 中型のみ		発電用、ポンプ用
Z形推進装置 (略称・Zペラ)		タグボート・サプライボート用
精密部品		ガイスリンガー継手及びダンパ、燃料噴射ポンプ、燃料弁
鋳造品		内燃機関及び産業機械用の鋳鉄品・特殊鋳鉄品(球状黒鉛鋳鉄、CV黒鉛鋳鉄、耐熱鋳物など)

0 10,000 20,000 30,000 40,000 50,000 60,000 70,000 80,000  
出力レンジ(kW)

### (3) 事業活動と環境のかかわりグラフ

#### 生産活動における環境負荷物質排出量の推移

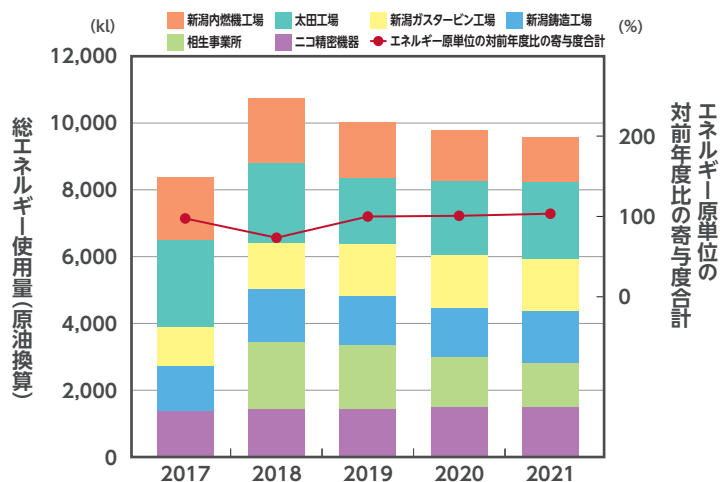
##### 総エネルギー使用量と総生産額の対比



総エネルギー使用量は、前年度対比98%に改善しました。燃料消費の原油換算量は、前年度対比102%で横ばい傾向でしたが、電力消費量の原油換算量は、前年度対比95%、CO<sub>2</sub>排出量は、前年度対比96%で改善傾向でした。

総生産額当たりの総エネルギー使用量は前年度対比100%で同等でした。総生産額当たりのCO<sub>2</sub>排出量は前年度対比97%で改善しました。

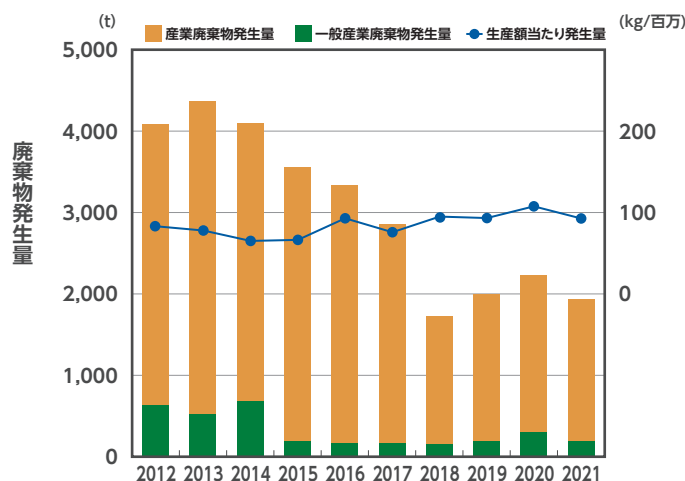
##### 総エネルギー使用量とエネルギー原単位対前年度比



総エネルギー使用量は、前年度対比98%に改善しましたが、エネルギー原単位の前年度比の寄与度合計は、103%となり、横ばい傾向でした。

各工場では、工場天井灯のLED化など、省エネの取り組みを進めており、エネルギー原単位の適正化の検討も継続しています。

##### 生産不要物発生量と生産額当たりの発生



一般産業廃棄物発生量は、前年度対比65%、産業廃棄物発生量は、前年度対比90%に改善しました。

生産額当たりの生産不要物の発生量は、前年度対比86%に改善しました。各工場では、引き続きリサイクル方法を検討しています。

#### (4) 生産不要物の削減の取り組み

各工場の生産不要物のリサイクル目標達成に向けての2021年度の活動実績は下表の通りです。

	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	相生事業所	ニコ精密機器
産業廃棄物 + 有価物量 (t)	1,033.1	583.6	170.0	1,548.3	526.0	132.3
再資源化量 (t)	994.5	461.3	147.7	1,379.3	526.0	131.4
リサイクル率 (%)	96.3%	79.0%	86.9%	89.1%	100%	99.3%

#### (5) 化学物質管理

各工場の取扱量1t以上のPRTR対象物質は下表の8物質でありIHI原動機全体としての2021年度の実績は下表の通りです。

(単位:kg)

物質番号	CAS番号	化学物質名	取扱量	大気排出量	水域排出量	移動量
438	1321-94-4	メチルナフタレン	24,114	121	—	—
87	—	クロム	12,284	11	—	8,745
80	1330-20-7	キシレン	6,976	5,611	—	—
384	106-94-5	1-プロモプロパン	3,551	2,987	—	564
53	100-41-4	エチルベンゼン	4,115	4,115	—	—
412	—	マンガン	1,702	—	—	36
296	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン	1,591	17	—	—
300	108-88-3	トルエン	3,876	3,876	—	—

#### (6) 事務所における環境保全の取り組み

		2019年度	2020年度	2021年度
総エネルギー使用量 (燃料原油換算)	kl	284.9	268.7	272.4
電力	kl	204.9	204.9	205.1
燃料	kl	80.0	63.8	67.3
水使用量	m <sup>3</sup>	6,309	4,180	3,979
二酸化炭素排出量	t-CO	599.3	517.9	522.9
廃棄物発生量	t	244.8	622.4	412.3

## (7) 各事業所における環境目標と実績評価

### 【1】工場の2021年度環境目標の達成状況

環境目標 = 前年度に対して原単位当たりエネルギー使用量の1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

工場部門	太田工場	新潟内燃機工場	新潟ガスタービン工場	新潟鑄造工場	相生事業所	ニコ精密機器	全体
達成の評価	😊	😊	☹️	☹️	☹️	😊	☹️
2020年度	0.371 kl/百kW	1.196 kl/百kW	0.899 kl/百kW	0.591 kl/ton	6.751 kl/千h	6.109 kl/千h	対前年比 100.8%
2021年度	0.357 kl/百kW	1.091 kl/百kW	1.096 kl/百kW	0.588 kl/ton	6.844 kl/千h	5.960 kl/千h	対前年比 103.4%
削減率	3.8% 削減	8.8% 削減	21.9% 増加	0.5% 削減	1.4% 増加	2.4% 削減	3.4% 増加

エネルギー使用量は原油に換算した使用量(kl)で表しています。

工場部門の原単位当たりのエネルギーは、太田工場、新潟内燃機工場、新潟ガスタービン工場では生産出力百kW当たりのエネルギー(太田工場と新潟内燃機工場では、生産出力にみなし出力・換算出力を加算)、新潟鑄造工場では生産重量ton当たりのエネルギー、相生事業所では、操業時間 + 出力 × 運転時間千h当たりのエネルギー、ニコ精密機器(株)では、機械稼働時間千h当たりのエネルギーで表しています。

全体の対前年度比は、エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度の合計値で表しています。

(省エネ法 定期報告書 様式第9(第17条関係) 特定-第3表 備考3による)

### 【2】事務所部門の2021年度環境目標の達成状況

環境目標 = 電気使用量の前年度1%削減

凡例: 😊 目標達成 ☹️ 目標未達成

事務所部門	本社	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	全体
達成の評価	☹️	☹️	☹️	☹️	☹️	😊	☹️
2020年度 千kWh	593.9	18.7	18.0	33.0	66.9	65.9	796.5
2021年度 千kWh	593.1	18.9	18.0	37.4	71.0	59.0	797.4
削減率	0.1% 削減	1.1% 増加	0.0% 削減	13.3% 増加	6.1% 増加	10.5% 削減	0.1% 増加

新潟支店は新潟内燃機工場の集計に含まれるため除外しています。

2021年度から九州支店の集計方法が変更になりました。2020年度までは、九州支店+長崎営業所で集計しておりましたが、2021年度以降は長崎営業所を含まずに、九州支店単独の値になりました。

## (8) 環境会計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン2018年版」を参考に2021年度の環境会計データを集計しました。

2021年度は、工場天井LED 照明、老朽化エアコン更新などのコストが大きな割合を占めました。

(単位:百万円)

分類		取り組み内容	投資額 <sup>注)</sup>	費用額 <sup>注)</sup>
事業エリア内コスト	公害防止コスト	下水管修理、試運転B-7排気サイレンサー更新、局所排気装置点検・フィルターなど	40.4	16.3
	地球環境保全コスト	工場天井LED照明、老朽化エアコン更新など	20.3	10.0
	資源循環コスト	廃棄物処理委託費	—	59.3
上・下流コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	通箱製作	2.1	—
管理活動コスト	環境情報取得、環境負荷監視および事業所内美化	EMS認証取得費用、作業環境測定など	4.5	33.4
研究開発コスト	環境保全製品の研究開発および製造段階における環境負荷抑制	DF機関信頼性向上など	0.5	1,387
社会活動コスト	事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト		—	—
合計			67.8	1,506

注) 投資額は、償却資産への設備投資額のうち、環境保全目的の支出額。

費用額は、環境保全を目的とした発生額。

環境保全対策による経済効果		売却量(t)	売却額(百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	2,318	76.5
有価物等の売却額②	油性廃油、廃カーボン、その他	189	0.5

### 本報告書に関するお問合せ先

株式会社IHI原動機 品質保証部  
〒101-0021  
東京都千代田区外神田2-14-5  
TEL 03-4366-1212  
FAX 03-4366-1325  
URL : <https://www.ihico.jp/ips/>  
当社ホームページ内の「お問い合わせフォーム」よりお問合せください。